

愛寿会 たより

2月号
第92号
平成19年
2月1日発行



【NHK大河ドラマ「風林火山」のロケ地となった北杜市】

昨今の福祉の現状と 税制改革について

社会福祉法人 愛寿会

監事 入江 薫

失われた十年と呼ばれる九十年代を過ぎ、今日本経済はいざなぎ景気を超える好景気にあるといわれています。いわゆる小泉構造改革のもと、漸く企業のバランス調整も終わり、大手金融機関の不良債権も処理が進んだということでしょう。しかし生活者に好況という実感はあるのでしょうか。

「孫にお年玉上げるのも容易じゃないよ。」そんなつぶやきをこの年初にうかがいました。無理ありません。私が仕事として関わっている税の世界でも、否応なく負担増が押し寄せてきているのですから。

定率減税は十八年度で半減、十九年度で廃止されました。老年者控除（六十五歳以上五十万円控除）も十七年度分から廃止されてしまい、前年と同じ収入であっても所得税で五十万円、住民税で四十八万円も収入が増えたことと同じになってしまいました。それが国民健康保険料にもはねかえり、医療費や介護保険料までもが増えています。

障害福祉の分野でも、平成十八年に施行された「障害者自立支援法」によって福祉

の現場に大変な影響がありました。

この法律は、「障害者及び障害児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むこと」を目標として定められました。従来の支援費制度に代わり、障害者に費用の一割負担を求め、障害者福祉サービスを一元化し、保護から自立に向けた支援をする法趣旨ですが、あまりにも急激な自己負担増と障害者施設の経営困難に困惑している状況がここにあります。

二〇五〇年には、人口は一億人前後となり、その三十五パーセントを六十五歳以上の高齢者が占める世界最高齢者国になるだろうと予測されています。従来の「若者が老人を養う」時代から「老人が老人の世話をする」のが当たり前の時代がすぐやってくるのです。この社会構成の変化に直面するわれわれは、正に暗中模索の状況にあるといわざるを得ません。

少子高齢化の進む中、今以上に国や地方の財政状況が厳しくなるのは明らかであり、税と社会保障関係費の国民負担の増加は避けられません。本格的な税制や地方財政の改革も含めた財政運営に、福祉が切り捨てられることなく、現場に携わる人たち一人ひとりの心が反映されることを祈るばかりです。

（入江会計事務所 所長）

料金後納
郵便

差出人(差出発送代行)
7-4
佐川物流サービス(株)
返送先: 〒140-0012
品川区勝島1-1-1

申子小包

この荷物をご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

— 愛寿会新年互礼会 —

一月十二日（金）、会議室にて愛寿会新年互礼会が執り行われました。

板山賢治理事長、小澤澄夫副理事長より年頭のあいさつをいただき、愛寿会役職員が一丸となり、多くの利用者みな様に喜ばれ、そして選ばれる施設を築く決意を固めました。

終わりに、「七つの誓い」を坂本昌子副園長につづいて力強く朗唱し、責任と使命を再確認いたしました。



【役職員一同気持ちを新たにしました】

* モットー

「利用者本位のサービスの実践」
「専門性の活かせる職場づくり」
「地域社会との協働と貢献」

* 日常の心得「七つの誓い」

- 一 「はい」という素直な心を持ちましょう。
- 二 「すみません」という反省の心を持ちましょう。
- 三 「ありがとう」という感謝の心を持ちましょう。
- 四 「おかげさま」という謙虚な心を持ちましょう。
- 五 「どうしました」という気遣いの心を持ちましょう。
- 六 「そうですね」という分かり合う心を持ちましょう。
- 七 「させていただきます」という奉仕の心を持ちましょう。

— 施設内研修 —

一月二十五日（木）、愛寿会嘱託医の溝口康司先生による職員研修会が行われました。今回の研修では、看取り介護について、家族への柔軟な対応、家族へのケア、急変

時の対応、健康管理、認知症介護の難しさ、人間の尊厳、それから職員の労働と健康管理についてご指導いただきました。

一時間という限られた時間の中で分かりやすく解説していただき、参加した職員全員が、集中して多くのことを学ぶことが出来ました。

これらのことを着実に実践に活かせるよう日々の介護に力を入れてまいります。



【溝口先生の講義に集中して取り組む職員】

— 不在者投票 —

一月十八日(木)、二十一日に控えた山梨県知事選挙にもなう施設内不在者投票が行われました。

園長をはじめ、多くの人が見守り厳正な雰囲気の中、投票に参加した入居者の方々は、それぞれ思う候補者の方に一票投じました。



【不在者投票の様子】

— まゆ玉づくり —

一月十五日(月)、各フロアで毎年恒例の「まゆ玉作り」を行いました。昔の思い出を語り合いながら、赤、白、緑と色とりどりのまゆ玉が手際よく出来上がりました。

こなしの木にさされたまゆ玉を部屋に飾り、みな様で一年の無病息災をお祈りしました。



【色とりどりの綺麗なまゆ玉が出来ました】

— ふうせん大会 —

一月十七日(水)には、優勝カップと園長賞を巡って、グループホームやすらぎ入居者とデイサービスセンター利用者による対抗風船バレー大会が行われました。

白熱した雰囲気の中、僅差でチームやすらぎが勝利を収めました。利用者の方々の日頃見られない表情がとても印象的でした。



【優勝カップを手に記念撮影です】

― 甲陵高校ボランティア ―

十二月二十三日(土)、北杜市立甲陵高等学校から六名の生徒さんがレクのボランティアに来てくださいました。手遊びや新聞を使った遊びを教わったり、皆で紙飛行機を作り飛距離を競ったりと、利用者の方々も童心に帰り楽しいひと時を過ごさせていただきました。

教えていただいた手遊び等はこれからも利用者の皆さんと行っていききたいと思えます。



【手遊び運動の様子】

面会時のお願い

本年も猛威を振るっております「ノロウイルスによる感染症等」について、仁生園では、昨年にも増して対策を実施しております。

- 一. 一日二回職員全員による施設全体の消毒
- 二. 入所者、職員全員によるうがい手洗い
- 三. 確実なケアサービス方法の実践
- 四. 衛生管理の徹底
- 五. 万一、発生時の対応学習会

こうした努力の結果、前回の終息からノロウイルス感染症、インフルエンザ、O157等疑わしいものを含め、発生は認められておりません。
これからも予防を第一に最大限の努力をしてまいります。

- 風邪気味・下痢・嘔吐・発熱等の症状の方の面会は、ご遠慮ください。
- 面会時の手指消毒にご協力ください。
↓玄関に手指消毒液を設置してありますので手洗いください。

ご芳情 (二月一日〜一月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ
- ・レクボランティアゆずっこの会
- ・天理教北巨摩支部
- ・北杜市 金曜会
- ・北杜市 山鳩の会
- ・北杜市 保坂多枝子
- ・北杜市 小野寺毅
- ・北杜市 佐藤つや子
- ・北杜市 清水 幸子

様 様 様 様 様 様 様 様 様 様

利用者状況 (二月末現在)

特別養護老人ホーム	一三〇・三九名
ショートステイセンター	十二・〇〇名
デイサービスセンター	北杜市・他市町村 一一一名
グループホーム	九名
生活支援ハウス <small>(こあらま)</small>	六名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340
担当 清水 俊彦

